

里山の自然を再発見 上寺の森で自然観察会が開催



クヌギとアベマキの違いを説明する山口さん(左)

11月15日、邑久町北島の上寺の森で自然観察会が行われました。講師は、図鑑「上寺の森 樹木百選」をまとめた元小学校長の山口史郎さん(邑久町北島)が務め、植物の由来、特徴をユーモアを交えて分かりやすく説明。参加者は、興味深く聞いていました。上寺の森は、里山に親しめるようにと地域の皆さんが、平成15年から3年をかけて遊歩道などを整備し、現在も下刈り、植樹などが行われています。

■観察会などの申込先
上寺の森を育てる会(餘慶寺納経所) ☎086-942-0186

備前長船の魅力を伝える 刀剣文化講演会・シンポジウムを開催



刀剣に対する思いを熱く語るパネラーの皆さん

来年秋に開催の国民文化祭「備前おさふね名刀フェスティバル」のプレイベントとして、11月15日、備前長船刀剣博物館で「刀剣文化講演会&シンポジウム」が開催されました。始めに、全日本刀匠会副会長の三上貞直さんが「皆の祈りを秘めた現代のお守り刀を創りあげることを目指す」と講演。その後のシンポジウムでは、5人のパネラーが意見交換を行い、地元刀工の川島一城さん(長船町東須恵)は「刀鍛冶の伝統文化・技術・日本の心を後世に伝えていく」と決意を語っていました。

平和への誓い、新たに 戦没者追悼式を開催



戦没者に祈りをささげる参列者の皆さん

11月11日、ゆめトピア長船で戦没者追悼式が行われました。式典には、先の大戦などで犠牲になった戦没者1,378柱の遺族の皆さんのほか、約300人が参列。君が代斉唱、黙とうに続き、武久顕也市長が「戦争の惨禍を繰り返すことなく、恒久平和の確立へ向けて努力します」と式辞しました。その後、来賓や遺族など参列者の皆さんは、市職員から白菊を手渡されると、祭壇の前に献花を行い、戦没者に鎮魂の祈りをささげました。

プリップリのカキにみんな大満足！ 邑久町漁協が「カキの日」のイベントを開催



朝焼けの中で行われたカキの初水揚げ



「わたしにもちょうだい！」大粒のカキが入った味噌汁に長い行列

11月23日、道の駅黒井山グリーンパーク内の邑久町漁協直売所で「カキの日」のイベントが行われました。この日は「勤労感謝の日に栄養豊富なカキで活力を」と全国漁業協同組合連合会が定めたものです。岡山県産カキの水揚げ量は、全国第3位。本市は、その約半分を占める全国的に有名な産地です。当日は、虫明産のカキが格安で販売されるとあって、朝早くから大にぎわい。また、焼きカキ、味噌汁の試食には、長い行列ができていました。食べ方はいろいろ。詳しいレシピは同漁協のHPで。皆さんもこの冬の味覚をぜひご賞味ください。

■問い合わせ先
邑久町漁協直売所 ☎0869-25-1010 (定休日 火曜日)
ホームページ(レシピあり) <http://www.jfoku.or.jp/>



海水の電気分解による滅菌、計量から袋詰めまでの自動化など徹底した衛生管理を行う邑久町漁協出荷場

新形質米で需要拡大を (財)瀬戸内市振興公社がお米の食味会を開催



もぐもぐ…真剣な表情で評価

11月13日、(財)瀬戸内市振興公社が中央公民館でお米の食味会を開催しました。消費者や販売業者、行政関係者などの参加者が、市内で収穫した5品種の味、食感、香りなどを食べ比べました。試食したお米には、胚芽が普通の白米より大きく、肝機能改善などさまざまな効果があるとされるギャバを多く含んだ「胚芽プレミアム」、粘りの強い低アミロース米「中国192号」など、新しい形質をもつ米(新形質米)などもあり、評価結果は、今後の試験研究などに生かされることになっています。